

IV.

平等・公平の原則—平等かつ公平な情報開示のIR

IR活動で株主・投資家の裾野を広げ、
全てを対象とした平等で公平な情報開示に努める

【基本姿勢】

- ① 公平な情報開示（フェア・ディスクロージャー）に努める
- ② 個人投資家、外国人投資家向けIR活動のすそ野を広げる
- ③ IR活動を充実させ、定期的に見直して改善する

【実行の手引き】

① 公平な情報開示（フェア・ディスクロージャー）に努める

- 未公表の重要な会社情報など、株価や投資判断に影響を及ぼすような情報を、一部の市場関係者や投資家に伝える行動は取らない。誤って伝えてしまった場合は、直ちに公表する
- 情報の作成・収集・開示プロセスを明確にして、一部の人々に情報が選別的に開示されるおそれを防ぐ
- 株価や投資判断に影響を及ぼすような情報が報じられたり、市場で流れたりした場合、事実関係を東京証券取引所が運営するT D n e tで開示する
- アナリスト・機関投資家への取材対応や説明会・カンファレンスで使った資料や情報は、可能な限りウェブサイトに掲載して個人投資家にも公開する

② 個人投資家、外国人投資家向けIR活動のすそ野を広げる

- 個人投資家向け説明会や「フェア」などのイベントを活用し、可能な限り個人投資家に説明する機会を設ける
- 決算情報や株価に影響する重要な情報は、可能な限り英文に翻訳してニュースリリースを発表する、ウェブサイトに掲載する等の形で外国人投資家の理解を促す

③ IR活動を充実させ、定期的に見直して改善する

- 説明会などのイベントを継続的に開催し、IRサイト等を通じて情報発信する
- 投資家の関心の高い将来情報やセグメント情報は、実態に即して開示する
- 時系列で資本市場における評価をチェックし、IRの実施状況と合わせて改善を図る。理論株価やアナリストのコンセンサス、日経平均株価や同業他社のバリュエーションなどもベンチマークとして参考にする
- 日本IR協議会の「IR優良企業賞」、東京証券取引所の「ディスクロージャー表彰」、日本証券アナリスト協会の「ディスクロージャー優良企業」ジャスダック証券取引所の「優良IR賞」等の結果を参考に、IRやコーポレート・ガバナンスを改善する